

# 許せません！ 事故原因も、安全性もないまま

関西広域連合  
嘉田知事らが

# 大飯原発再稼働容認

## 再稼働の条件は何一つ存在していないのですが

福島原発事故では事故原因の究明もされていない中で、再稼働に躍起となっている政府の「安全基準」は内実のない「暫定」です。しかも電力会社は安全対策を実施しなくても「計画を立てる姿勢」を見せれば「OK」ができるという極めて無責任なものです。

それだけに嘉田知事などはこれまで政府に安全対策などを求め再稼働には慎重な表明をしてきました。ところが広域連合の声明では「再稼働は限定的なもの...」として容認しました。嘉田知事自身も、「あとは政府の判断だ」として再稼働容認へ方向転換しました。

## “ないないづくしの”再稼働やめて”は県民の総意です

福井原発群から約60kmの野洲市です。ひとたび事故が起こればわずか1時間で放射能が飛散してきます。また、敦賀原発など若狭湾岸の活断層上の立地で危険性が指摘されています。

置なし、安全性の対策なし、避難計画なしの“ないないづくし”での再稼働方針です。このような中で野田首相や広域連合及び嘉田知事が容認することは、「再稼働やめて」と願う県民を裏切るものに他なりません。

にもかかわらず、「国の規制機関の設

## いまこそ、原発から撤退し、自然エネルギーへ転換すべきです

関西広域連合は30日、福井県大飯原発の再稼働を「容認」しました。これにより、野田民主党内閣は、「一定の理解を得られた」として再稼働を進めるとしています。嘉田知事はこれまで「安全性の確保」を強調し、再稼働には慎重でしたが、広域連合の会議では安全性は発言すれども再稼働を事実上容認しました。知事の容認への方向転換に県民から強い批判がでています。

## 6月定例市議会は7日からです。ご意見・ご要望をお寄せください

- 6月 7日(木)本会議(議案提案)
- 14日(木)本会議(議案質疑、一般質問)
- 15日(金)本会議(一般質問)
- 18日(月)本会議(一般質問)
- 19日(火)総務常任委員会、総務分科会
- 20日(水)文教福祉常任委員会、文福分科会
- 21日(木)環境経済建設常任委員会
- 25日(月)予算常任委員会  
都市基盤整備特別委員会
- 27日(水)全員協議会、本会議(討論、採決)

本会議・委員会は午前9時から、27日の本会議は午後1時からです。

議案質疑・一般質問は14日～18日に行われます。共産党市議団の主な質問は以下の通りです。

- 大飯原発再稼働・原発撤退問題について
- 循環バスの停留場に高齢者や障がい者にやさしい屋根と椅子を
- アサヒビール跡地周辺整備計画には、次世代の声の反映を。
- 文化スポーツ振興事業団の今後について
- 市税は市民の福祉・子育て支援に
- 県道・国道の渋滞対策について
- 育休中の上の子の保育について
- 若い世代の雇用問題について



やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2012年6月3日 241

暮らしのご相談を  
お寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話・FAX)589-4971  
 野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985  
 太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169

市議団ホームページ  
<http://www.yasusigi.net/>